

高耐候低汚染形セラミック変性ターペン可溶アクリルシリコン樹脂塗料

セラメシリコンII

JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 2級



「提案色」



KP-111



KP-110



KP-112



KP-223



KP-221



KP-310



KP-127



KP-121



KP-133



KP-80



KP-337



KP-120



KP-131



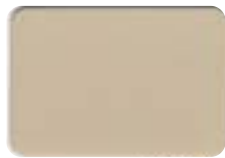
KP-141



KP-247



KP-330



KP-336



KP-147



KP-350



KP-75



◎KP-347



KP-357



KP-150



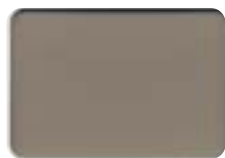
KP-352



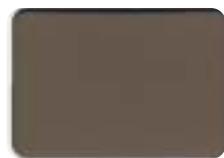
KP-70



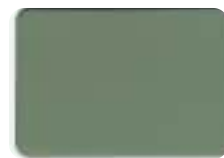
KP-356



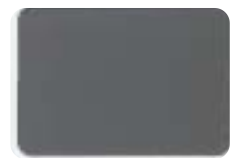
◎KP-167



◎KP-376



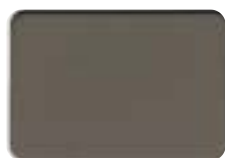
◎KP-368



◎KP-50



◎KP-367



◎KP-170



◎KP-385



◎KP-185



◎KP-379

※この見本帳は紙に塗装していますので、実物と多少異なる場合があります。

※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。

◎印は材料費が割高になります。

セラMシリコンII

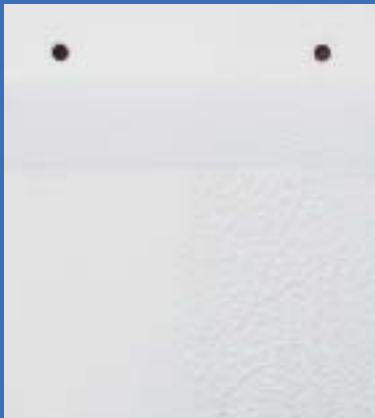
特長

- 1) 耐汚染性が非常に良好です。
- 2) 耐候性・耐薬品性・耐久性に優れた塗膜性能を発揮します。
- 3) 塗料用シンナーで希釈するため作業性に優れているばかりか、より安全な作業環境で塗装できます。
- 4) ホルムアルデヒド放散等級区分は、F☆☆☆☆です。
- 5) 鉛・クロムは配合していません。
- 6) 防カビ・防藻性を有しています。
- 7) 弾性タイプのバリエーションがあります。
- 8) JIS K 5658 : 2010 2級認証品です。

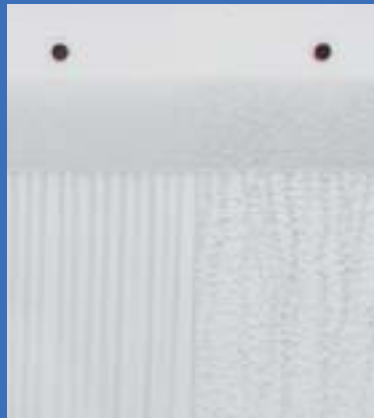
屋外汚染性比較

「更に耐汚染性が向上しました。」

セラMシリコン II

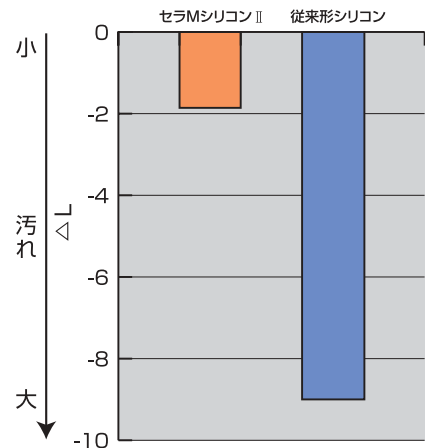


従来形2液強溶剤アクリルシリコン樹脂塗料



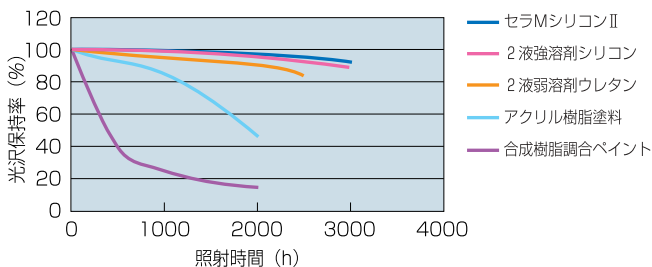
※兵庫県尼崎市南面6ヶ月での雨筋汚染試験

耐汚染性能比較・ばくろ結果(ΔL値)
(東京6ヶ月ばくろ、未水洗面)



耐候性比較

キセノンランプ法 2500時間で光沢保持率80%以上をクリア



地球に優しい塗料です。

	セラMシリコン II	従来形2液強溶剤アクリルシリコン樹脂塗料
溶剤種	弱溶剤	強溶剤
鉛・クロム	配合せず	配合している(黄・オレンジ)
臭気	比較的弱い	強い
防カビ・防藻性	有	無

幅広い素材・旧塗膜適性があります。

●素材・旧塗膜適性

素材	下塗	旧塗膜	下塗
コンクリート	エポキシシーラー	吹き付けタイル	アレスホルダーG II
モルタル	エポキシシーラー	スタッコ	アレスホルダーG II
スレート	エポキシシーラー	リシン	アレスホルダーG II
PC板	エポキシシーラー	焼き付け(メラミン・アクリル)	スーパーザウルス
押出成形板	エポキシシーラー	合成樹脂調合ペイント	スーパーザウルス
ブロック・ALC	エアレスフィラー		
木部	カンベ1液M木部用下塗HG		
鉄部	スーパーザウルス		
アルミニウム	スーパーザウルス		
亜鉛メッキ	スーパーザウルス		
硬質塩ビ・FRP	セラMシリコン II 中塗(研磨・脱脂必要)		
サイディングボード	アレスポリマーレジン		
シーリング材	シーブラ		

注) 外部の塗り替えにあたっては、高圧水洗を必ず行ってください。その他の下地についても、適切な下地処理を行ってください。表中にない下地や旧塗膜の適性については、当社にお問い合わせください。

■荷姿

セラMシリコン II	セラMシリコン II 中塗
● ベース 13.5kg、3.6kg ● 硬化剤 1.5kg、0.4kg ● 弾性硬化剤 2.0kg	● ベース 14.5kg、3.6kg ● 硬化剤 1.5kg、0.4kg ※ 弾性硬化剤 1.5kg
● ベースは共通です。 ● 弾性硬化剤は2.0kgのみの設定です。	※弾性硬化剤は1.5kgのみの設定です。

●JIS K 5658:2010 2級 試験結果

試験項目	試験成績	試験規格
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること。
表面乾燥性(23℃)	合格	8時間以内で表面乾燥する。
表面乾燥性(5℃)	合格	16時間以内で表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	正常である。
ポットライフ h(23℃)	合格	5時間
隠ぺい率(%)	98	90以上
鏡面光沢度	82	70以上
耐衝撃性	合格	割れ及びひびがれが生じない。
付着性(クロスカット法)	合格	分類1又は分類0である。
重ね塗り適合性	合格	支障がない。
耐アルカリ性	合格	異常がない。
耐酸性	合格	異常がない。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
促進耐候性	合格	照射時間1200時間後の光沢保持率が80%以上である。塗膜に割れ、はかれ及び彫れがなく、試料の色差が見本品と比較して大きくなく、さらに白亜化の等級が1又は0である。
屋外暴露耐候性	合格	光沢保持率が40%以上で、試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、白亜化の等級が、2、1又は0である。

■コンクリート・モルタル・スレート面

1) 旧塗膜のテクスチャーを変えた塗替え

工程	塗料名と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整 クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2	下地調整材(下塗り)(中塗り) アレスホルダーGⅡ上水	0.8~1.5	8時間以上7日以内	1~5	多孔質ローラー
3	中塗り セラMシリコンⅡ中塗(ベース/硬化剤=10/1)塗料用シンナーA	0.12	4時間以上7日以内	5~15	ハケ、ローラー
4	上塗り セラMシリコンⅡ(ベース/硬化剤=9/1)塗料用シンナーA	0.14	—	10~30	エアレス
				0~10	ハケ、ローラー
				5~10	エアレス

2) 旧塗膜のテクスチャーを活かした塗替え

工程	塗料名と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整 クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2	下地調整材(下塗り)(中塗り) アレスホルダーGⅡ上水	0.3~0.5 0.7~1.0 0.7~1.2	8時間以上7日以内	5~10 7~10 7~15	中毛ローラー リシンガン エアレス
3	中塗り セラMシリコンⅡ中塗(ベース/硬化剤=10/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り セラMシリコンⅡ(ベース/硬化剤=9/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0~10 5~10	ハケ、ローラー エアレス

3) 平滑仕上げ

工程	塗料名と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整 エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率8%以下とする。				
2	下塗り エポムシーラー	0.15 0.18	16時間以上7日以内	無希釈	ローラー エアレス
3	中塗り セラMシリコンⅡ中塗(ベース/硬化剤=10/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り セラMシリコンⅡ(ベース/硬化剤=9/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0~10 5~10	ハケ、ローラー エアレス

施工上の注意事項

- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- 塗装仕様に記載の塗装間隔は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますので、ご注意ください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けて下さい。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けて下さい。
- 黄・赤・青・緑系の汚れた色で仕上げられる場合は、隠蔽性の良い共色を塗装してから仕上げられますことをお奨めします。
- 外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないで下さい。剥離の原因となります。
- 完全乾燥までに時間を要しますので、カウンター、床面等への塗装は避けて下さい。
- 調色には指定原色を使用して下さい。また、濡れ色に比べて乾き色の方が濃くなる傾向ですので、調色は乾き色に合わせて下さい。
- 希釈には必ず「塗料用シンナーA」を使用して下さい。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解等が発生することがあります。また、ラッカー系旧塗膜面を塗り替える場合、チヂミが発生することがありますので、事前に確認して下さい。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜて下さい。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけでなく、流れやすくなるため、仕上り不良の原因ともなりますので、ご注意ください。
- 流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施して下さい。
- 被塗面に、油、ワックス、汚れ等が付着している場合は、シンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装して下さい。異なる色を塗り重ねる場合も、ニジミ防止のため、塗装間隔を1日以上確保して下さい。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用して下さい。
- 開用した状態で長時間放置すると、水分と反応して増粘・皮膜り等を起こしやすくなりますので、調色後の塗料は、直ちに密閉して冷暗所に保管して下さい。
- ベースと硬化剤を混合した塗料は、8時間以内(23℃)にご使用下さい。混合後、長時間経過した塗料を使用した場合、塗膜性能が低下する場合があります。

■一般鉄部(塗替え)・亜鉛メッキ面

工程	塗料名と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整 鉄部 劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、清浄な面とする。素地露出部は工程2の下塗りをういて補修塗りを行う。				
	亜鉛メッキ面 全面清掃、脱脂、目荒しを行い、清浄な面とする。白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。				
2	下塗り スーパーザウルス(ベース/硬化剤=9/1)塗料用シンナーA	0.14 0.17	4時間以上7日以内	0~10 0~10	ハケ、ローラー エアレス
3	中塗り セラMシリコンⅡ中塗(ベース/硬化剤=10/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り セラMシリコンⅡ(ベース/硬化剤=9/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0~10 5~10	ハケ、ローラー エアレス

【弾性仕上げの場合】

■コンクリート・モルタル面

覆層仕上げ

工程	塗料名と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整 新設 エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率8%以下とする。				
	塗替 クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2	下塗り アレスゴムタイルシーラー	0.15 0.18	2時間以上7日以内	無希釈	ローラー エアレス
3	中塗り ベース塗り アレスゴムタイルニューラフ上水	0.6~1.3	2時間以上7日以内	10~20	リシンガン 4.5~6.5mmφ
	パターン塗り アレスゴムタイルニューラフ上水	0.6~1.3	8時間以上7日以内	1~3	タイルガン 6~8mmφ
4	上塗り(1回目) セラMシリコンⅡ中塗(ベース/弾性硬化剤=10/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス
5	上塗り(2回目) セラMシリコンⅡ(ベース/弾性硬化剤=7/1)塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0~10 5~10	ハケ、ローラー エアレス

*弾性仕上げの場合、弾性硬化剤を使用してください。

ご使用上の注意事項

■下記の注意事項を守って下さい。

■詳細な内容については化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要に応じて換気機(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には高所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防塵型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 揮発又は高温の白熱体に接触しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のもは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に混ぜて処分すること。

対応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 吸み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立ち看板などでベンキ塗りで立てる旨を表示し、化学物質過敏症などにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社	TEL (03)5711-8904	FAX (03)5711-8934	中部販売部	TEL (052)262-0921	FAX (052)262-0981
北海道販売部	TEL (0133)64-2424	FAX (0133)64-5757	大阪販売部	TEL (06)6203-5701	FAX (06)6203-5603
東北販売部	TEL (022)287-2721	FAX (022)288-7073	中国販売部	TEL (082)262-7101	FAX (082)264-3285
北関東販売部	TEL (028)637-8200	FAX (028)637-8223	四国販売部	TEL (0877)24-5484	FAX (0877)24-4950
東京販売部	TEL (03)5711-8905	FAX (03)5711-8935	九州販売部	TEL (092)411-9901	FAX (092)441-3339

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は